

## 新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和7年3月21日（金）

2 出席者 21名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 3名

県民生活環境部長、資源循環推進課長、資源循環推進課新最終処分場整備室長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 3名

常務理事、事務局長兼参事兼総務課長、参事兼整備課長

ウ 日立市 3名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

### 3 会議概要

#### (1) 案件の協議

茨城県から報告を受け、質疑を行った。なお、報告内容及び委員と県等の主なやり取りは、次のとおり。

#### ア 新産業廃棄物最終処分場本体工事の進捗状況について

令和6年度は、埋立地・浸出水処理施設敷地の造成工事と防災調整池の設置工事を実施していること、令和7年度は、敷地造成工事や防災調整池設置工事を引き続き進めるほか、遮水工や浸出水処理施設の設置工事、環境学習施設等の設計に着手予定であることなどについて報告があった。

#### イ 新産業廃棄物最終処分場新設道路工事の進捗状況について

令和6年度は、(仮称)大久保町第2トンネル本体工事や橋梁下部工事、道路改良工事等を実施していること、令和7年度は、(仮称)大久保第1トンネル本体工事や橋梁上部工事等に着手予定であることについて報告があった。

#### ウ 県事業による地元要望への対応について

県道日立常陸太田線片側歩道整備に係る一部区間の工事が本年2月に完了したこと、また、諏訪の水穴前における堆積土砂の撤去工事が3月に完成したことについて報告があった。

#### エ 地域振興事業交付金の交付に伴う市の対応について

本年1月14日に、市と事業団との間で「地域振興事業の交付に関する覚書」を締結し、本市が実施する地域振興事業の効果を早期に発現させることを目的として総額5億円が先行拠出されるほか、新処分場供用開始年度の翌年度から埋立実績量に応じて、毎年度、埋立て完了までの間、市からの請求に基づき拠出されることなどについて報告があった。

また、地域振興事業交付金の活用方針に関する基本的な考え方、活用する期間、交付金の活用内容のほか、市が行う地域振興事業の取組について報告があった。

## ■ 委員と県等とのやり取り

- ア 委員：環境学習施設について、昨年9月25日に開催した本委員会においても要望したが、基本設計及び基本計画の内容がそのまま実現できるように、きちんと設計していただくよう改めて要望する。
- イ 委員：中丸団地入口付近の新設道路工事について、山側道路の現道の上を橋で渡すイメージになると思うが、いつ頃を予定しているのか。  
また、工事を進めるに当たり、現道は危険であるため、通行止めにすると思うが、どれくらいの期間を想定しているのか。
- 回答：現時点で着手時期は明言できないが、令和8年度中には当然完成するように工事を進める。  
通行止めに関しても、今後、高萩工事事務所で詳細を決定し、地元の方々に説明させていただく。
- 要望：山側道路は、交通量がかなり多い状況にある。安全に実施していただくことが一番だが、通行止めの期間を極力短縮できるように、工事を進めていただくよう要望する。

以上